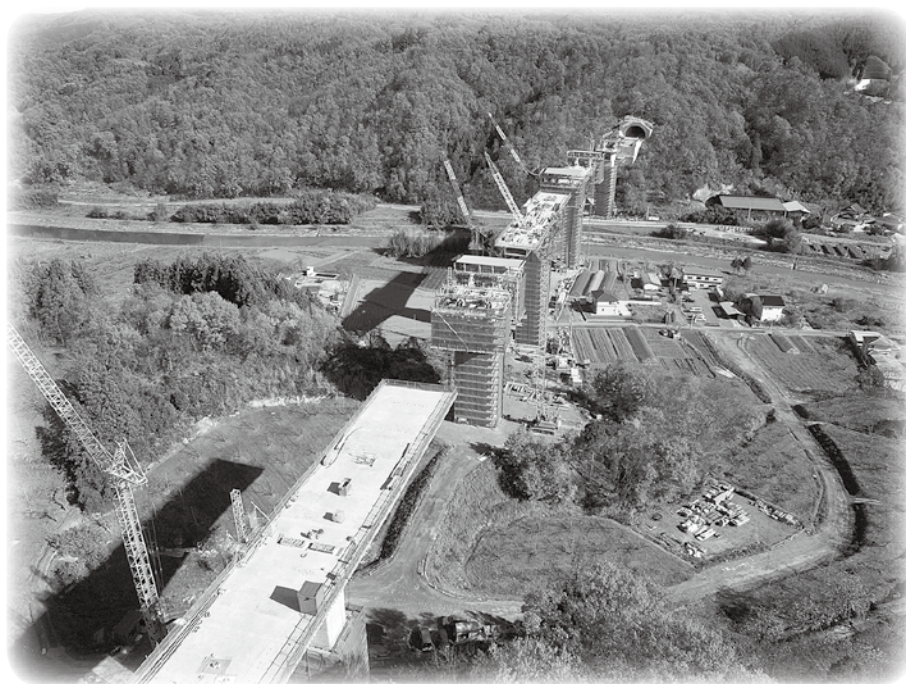


政策 5

自然と調和し

快適で住みよいまちづくり



5 - 1

快適な生活環境の形成

5 - 2

市民生活を支える交通網の充実

5 - 3

快適で便利な居住空間の創出

5 - 4

安全・安心な水環境の形成

5 — 1 快適な生活環境の形成

不法投棄防止活動事業

担当課 生活環境課

272万円

財源（万円）	市の負担
	272

【目 的】

廃棄物の不法投棄を未然に防止することにより、生活環境の保全および公衆衛生の向上を図ることを目的とします。

【実施内容】

- 廃棄物不法投棄監視委員による市内の不法投棄がなされやすい箇所の巡視および監視
- 市内の不法投棄がなされやすい箇所への監視カメラの設置

【前年実績・効果】

33名の監視員による監視地域の巡視の実施と3台の監視カメラの設置を行いました。

廃棄物減量化支援事業

担当課 生活環境課

30万円

財源（万円）	市の負担
	30

【目 的】

家庭から出る生ごみの量を減らすため、家庭用生ごみ処理機等の購入者に補助金を交付します。

【実施内容】

購入代金の5割以内、上限25,000円以内で購入費用の補助をします。

【前年実績・効果】

- 電動生ごみ処理機 3台
 - コンポスト 5台
- (平成28年2月4日現在)

廃棄物再資源化支援事業

担当課 生活環境課

200万円

財源（万円）	市の負担
	200

【目 的】

廃棄物のリサイクルを推進するため、新聞・雑誌・ダンボールなどの古紙類を回収し、再資源化している市内の町内会、PTA、子ども会、老人クラブなどの団体に対し、その回収量に応じ、奨励金を交付します。

【実施内容】

奨励金は、廃品回収業者に引き渡した古紙類の重量に応じ、1kg当たり2円を支給しています。

【前年実績・効果】

平成27年度申請受付件数 130件
(平成27年2月4日現在)

小型家電リサイクル事業

担当課 生活環境課

18万円

財源（万円）	市の負担	その他
	16	2

【目 的】

デジタルカメラやゲーム機等の使用済小型電子機器等の回収を行い、ごみの減量化を図るとともに、希少金属等の再資源化を促進します。

【実施内容】

市内の公共施設11施設（市役所・総合支所・各中央交流館・伊達地方衛生処理組合）に回収ボックスを設置し、使い終わった小型家電を回収し、再資源化を促進します。

【前年実績・効果】

平成27年度回収量 3,437kg
(平成27年12月31日現在)



新エネルギー推進事業

担当課 生活環境課

720万円

財源（万円）	市の負担
	720

【目 的】

住宅に太陽光発電システムを設置した人に、その費用の一部を補助することにより、再生可能エネルギーの普及および地球温暖化の防止を図ります。

【実施内容】

導入した太陽光発電システム 2kw 当たり 2 万円、4kw を上限（最大 8 万円）を補助します。

【前年実績・効果】

平成 27 年度申請受付件数 103 件

5－2 市民生活を支える交通網の充実

地域公共交通活性化協議会参画事業

担当課 総合政策課

932万円

財源（万円）	市の負担
	932

【目 的】

地域公共交通ネットワークの再構築を図るため、伊達市地域公共交通活性化協議会において地域公共交通再編実施計画を策定するための費用を負担金として支出します。

【実施内容】

- 伊達市地域公共交通活性化協議会の開催
- 地域公共交通再編実施計画の策定

【前年実績・効果】

- 伊達市地域公共交通活性化協議会 2 回開催
- 伊達市地域公共交通網形成計画策定

新多目的交通システム事業

担当課 総合政策課

7,386万円

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	6,908	478

【目 的】

商店街の活性化や地域住民の足を確保するため、商工会で実施している「まちなかタクシー」に対し、補助金等を支出します。

【実施内容】

- ほばらまちなかタクシー運行補助
- 霊山・月舘まちなかタクシー運行補助
- 梁川・伊達まちなかタクシー運行補助
- 国見まちなかタクシー運行負担金

【実施状況・効果】

利用者（平成 26 年度）
 保原 32,338 人
 霊山・月舘 16,155 人
 梁川・伊達 16,502 人



まちなかタクシー

地方バス路線運行事業

担当課 総合政策課

708 万円

財源（万円）	市の負担
	708

【目 的】

市民の日常生活に必要なバス路線を維持するために、運賃収入だけでは採算が取れない路線に対し、関連する市や町で経費の一部を補助します。

【実施内容】

○乗合バス運行事業者へ補助金の交付

【前年実績・効果】

○平成 27 年度輸送人員 929,795 人（12 路線合計）



バス車両

市町村代替バス運行事業

担当課 総合政策課

1,648 万円

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	1,478	170

【目 的】

霊山地域の小中学生の通学等にも利用され、地域住民の足として欠かせないバス路線について、運行を維持するため、交通事業者へ補助をします。

【実施内容】

○乗合バス運行事業者へ補助金の交付

【前年実績・効果】

○平成 27 年度輸送人員 35,854 人（3 路線合計）



バス車両

阿武隈急行支援事業

担当課 総合政策課

1,053 万円

財源（万円）	市の負担	市 債
	3	1,050

【目 的】

阿武隈急行線を安全に運行するために、阿武隈急行(株)が行う橋やトンネルの修理、路線の整備などに県や沿線市町と協調して補助金を交付します。

【実施内容】

○阿武隈急行(株)へ補助金の交付

【前年実績・効果】

平成 27 年度主な駅の乗降客数（12 月末現在）

上保原駅 127,045 人

保原駅 308,580 人

大泉駅 152,993 人

梁川駅 142,238 人



阿武隈急行

高速道路対策事業

担当課 高速道路推進室

2,022 万円

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担
	384	1,638

【目 的】

復興支援として相馬福島道路（自動車専用道路）の整備が国により急ピッチで進められています。国から事務委託を受け、用地取得を行っています。また利便性の高い工事用道路は市道としてその用地を取得しています。

【実施内容】

用地事務受託（土地等の取得および物件移転等の契約事務）

補償契約額 7 億円

高速道路対策事業 1,638 万円

高速道路用地取得事業 384 万円

【前年実績・効果】

用地事務受託（土地等の取得および物件移転等の契約事務）

補償契約額 9 億円

高速道路対策事業 1,950 万円

高速道路用地取得事業 266 万円

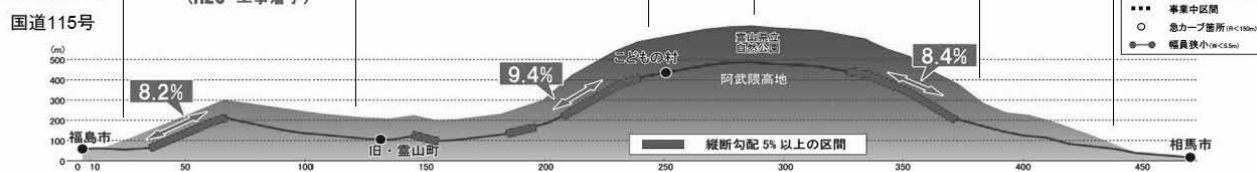


犬飼大橋（工事中）

【平面図】



【縦断面図】



道路新設改良事業（都市計画）

担当課 土木課

2,600万円

財源（万円）	市の負担	市 債
	130	2,470

【目 的】

梁川町字町裏には内水排除ポンプを設置していますが、さらに流末区域の浸水被害を軽減させるため、上流域の上町地内に排水路の整備を行います。

【実施内容】

県が実施している国道 349 号（梁川町右城町・大町工区）都市計画道路中央線整備事業の進捗と併せて排水施設整備を行います。

長さ＝ 80 m

【前年実績・効果】

排水施設整備工事＝ 80 m



上町排水路整備

さわやか現道整備事業

担当課 土木課

1 億 7,600 万円

【目 的】

安全で快適な生活環境を目指し生活に密着した市道の舗装、道路改良および水路の整備を行います。

【実施内容】

①伊達地域	道路改良	4 路線
	水路整備	3 力所
②梁川地域	現道舗装	7 路線
	道路改良	1 路線
	水路整備	1 力所
③保原地域	現道舗装	3 路線
	道路改良	1 路線
	水路整備	2 力所
④霊山地域	現道舗装	2 路線
	水路整備	1 力所
⑤月舘地域	水路整備	2 力所

財源（万円）	市の負担
	17,600



平成 28 年度 道路整備箇所図

【対象事業】

○道路新設改良事業	P27 掲載
○道路新設改良事業（都市計画）	P94 掲載
○さわやか現道整備事業	P94 掲載

【掲載ページ】

伊達地域	P96 ～ 97
梁川地域	P98 ～ 99
保原地域	P100 ～ 101
霊山地域	P102 ～ 103
月舘地域	P104 ～ 105

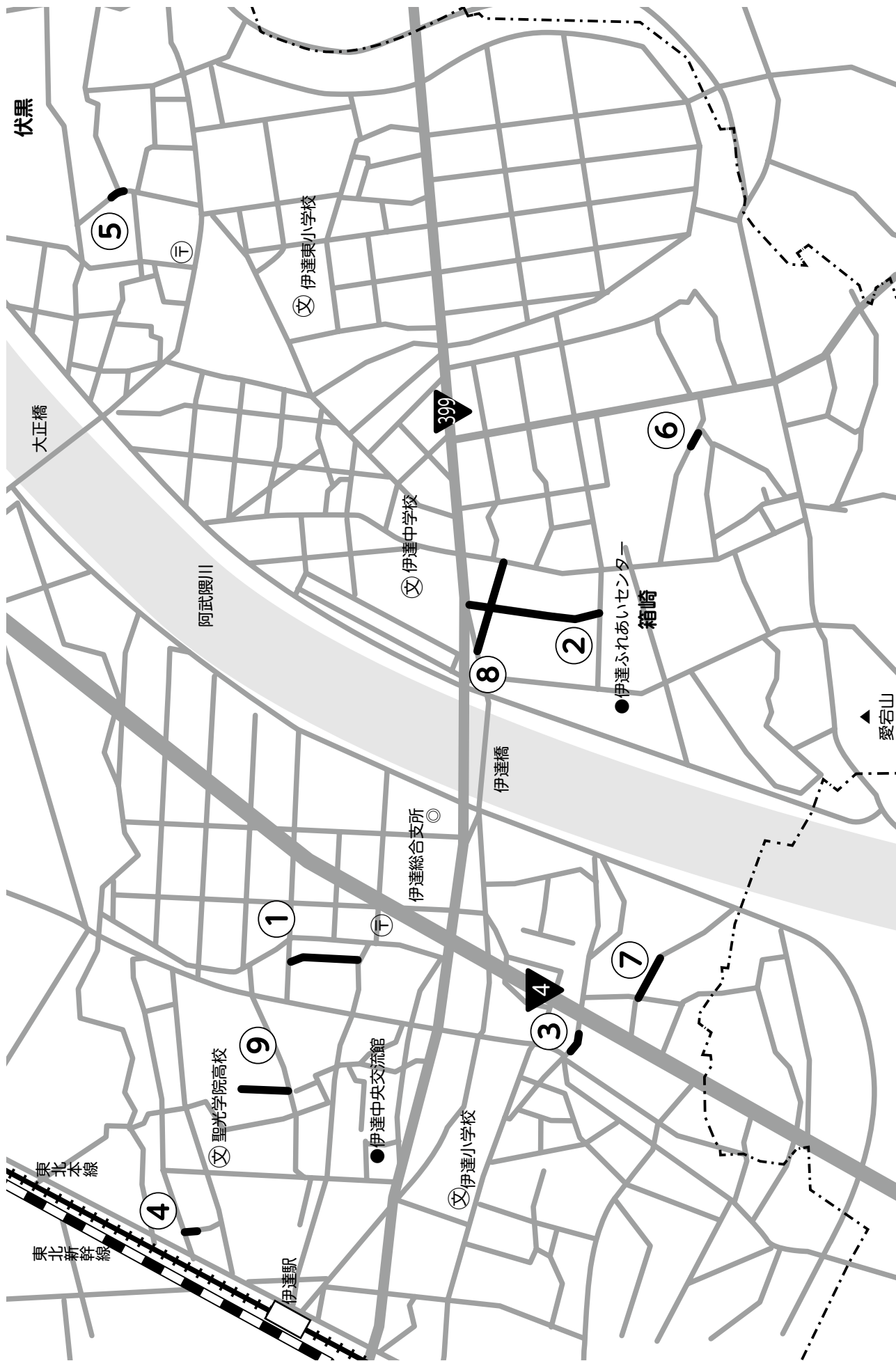
【伊達地域】

道路新設改良事業（単独事業）

図面 番号	場 所	目 的	概 要
①	岡前地内	道路改良舗装	用地補償・工事 長さ＝80メートル 幅＝4.0メートル (岡前北畑線) 継続
②	箱崎字原地内	道路改良舗装	測量設計 長さ＝340メートル 幅＝9.75メートル (原西3号線) R399 整備計画関連

さわやか現道整備事業

図面 番号	場 所	目 的	概 要
③	鍛冶屋川地内	水路整備	工事 長さ＝80メートル (鍛冶屋川坂ノ上線)
④	根田地内	道路改良舗装	用地補償・工事 交差点隅切部 (根田線) 継続
⑤	伏黒字観音前地内	道路舗装	工事 長さ＝30メートル 幅＝2.5～3.0メートル (観音北線)
⑥	箱崎字漆宝地内	水路整備	工事 長さ＝15メートル 幅＝0.3メートル 高さ＝0.3メートル 継続
⑦	荒町地内	水路整備	測量設計・工事 長さ＝60メートル（改修） (荒町)
⑧	箱崎字原地内	道路改良舗装	測量設計 長さ＝220メートル 幅＝4.0メートル (原西2号線) R399 整備計画関連
⑨	箆田地内	道路舗装	測量設計 長さ＝120メートル 幅＝5.0メートル (箆田3号線)



【梁川地域】

街路事業（都計大町菖蒲沢線大町工区）

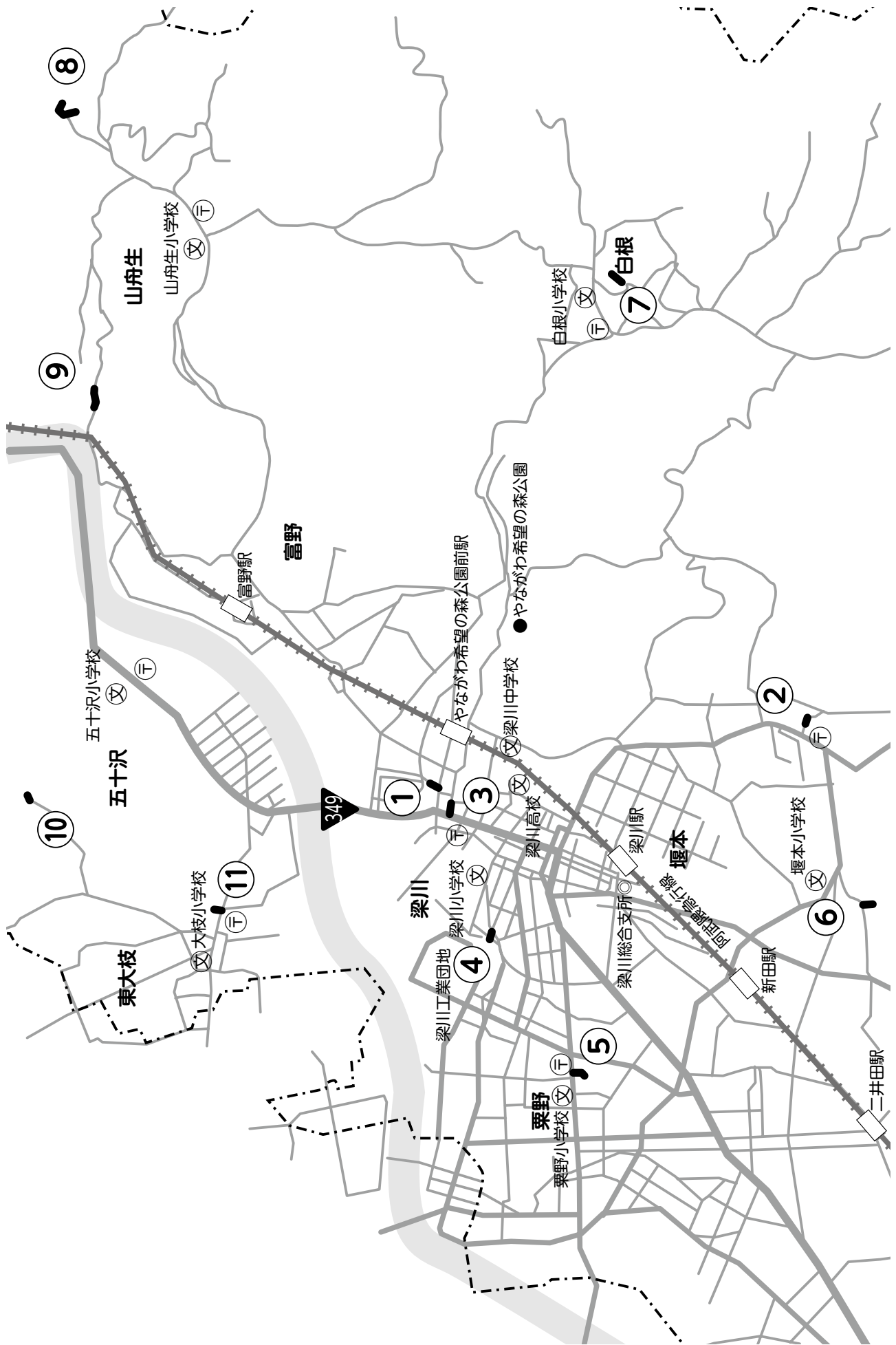
図面 番号	場 所	目 的	概 要
①	上町地内	水路整備	工事 長さ＝80 メートル 径＝0.45 メートル 継続

道路新設改良事業（単独事業）

図面 番号	場 所	目 的	概 要
②	大関字愛宕後地内	旧橋撤去	旧中ノ内橋撤去工事一式、護岸復旧

さわやか現道整備事業

図面 番号	場 所	目 的	概 要
③	大町一丁目、天神町地内	道路改良	測量設計・用地補償 長さ＝120 メートル 幅＝5.0 メートル (大町天神町線)
④	山城館地内	現道舗装	測量設計・工事 長さ＝50 メートル 幅＝2.5～3.0 メートル (山城館1号線)
⑤	栗野字栗木内地内	現道舗装	工事 長さ＝70 メートル 幅＝2.5～3.0 メートル (栗木内前塚原線)
⑥	細谷字入ノ内後地内	現道舗装	測量設計・工事 長さ＝50 メートル 幅＝2.5～3.0 メートル (馬下入ノ内線)
⑦	白根字中倉地内	現道舗装	測量設計・工事 長さ＝50 メートル 幅＝2.5～3.0 メートル (小室田五斗五郎内線)
⑧	山舟生字石角坊地内	現道舗装	測量設計・工事 長さ＝50 メートル 幅＝2.5～3.0 メートル (栢脇石橋線)
⑨	八幡字守水地内	現道舗装	工事 長さ＝200 メートル 幅＝2.5～3.0 メートル (和田線)
⑩	五十沢字株木地内	水路整備	測量設計・工事 長さ＝80 メートル 幅0.3 メートル 高さ0.3 メートル
⑪	東大枝字高原地内	現道舗装	測量設計・工事 長さ＝90 メートル 幅＝2.5～3.0 メートル (高原線)



【保原地域】

道路新設改良事業（合併特例債事業）

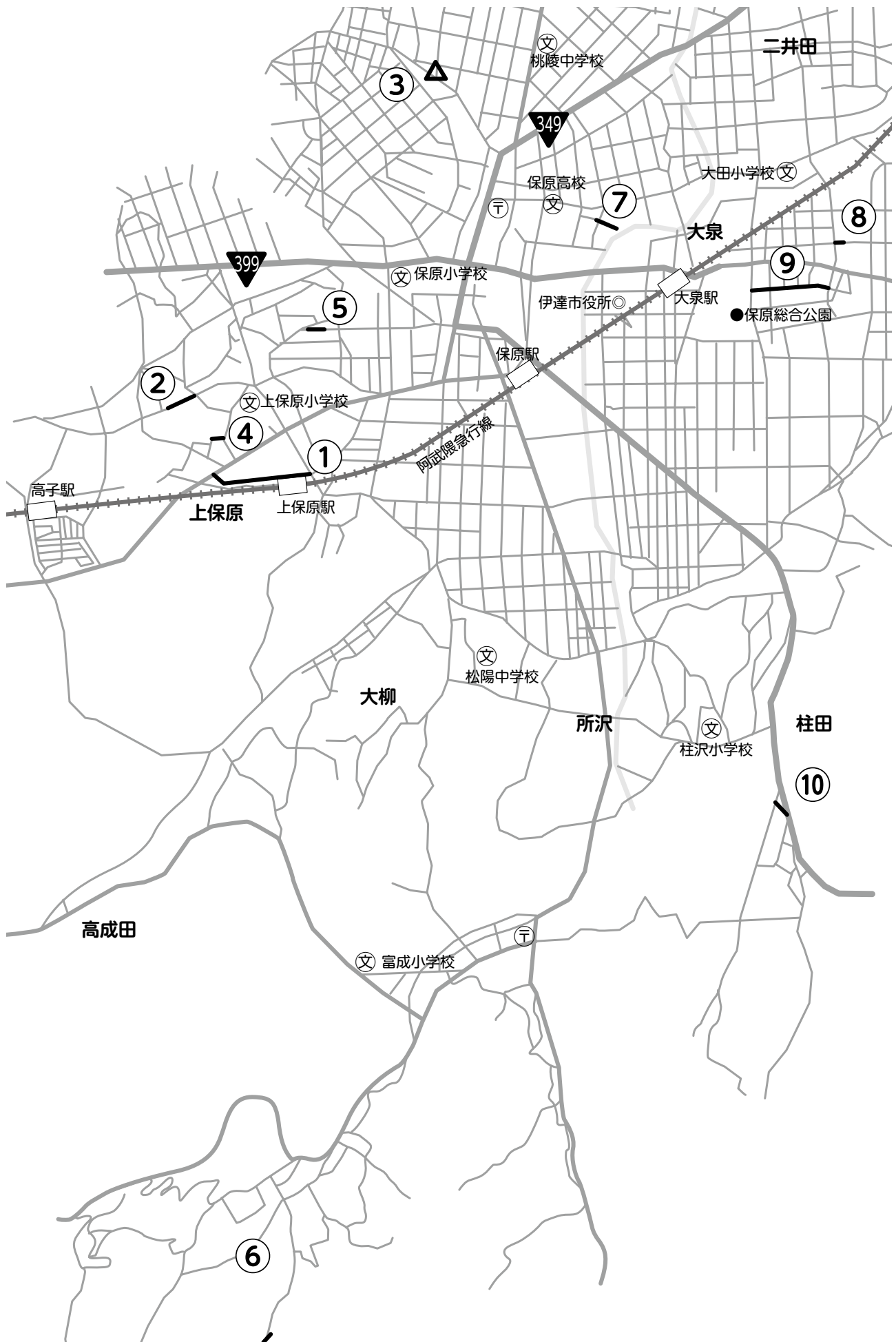
図面 番号	場 所	目 的	概 要
①	上保原字上当築地内	道路改良舗装	用地補償 長さ＝600メートル 幅＝14メートル(2車線・両側歩道) (上ノ原2号線) 相馬福島道路 I.C アクセス道路 継続
②	上保原字大地内地内	道路改良舗装	工事 長さ＝440メートル 幅＝9.75メートル(2車線・片側歩道) (保原箱崎線) 継続

道路新設改良事業（単独事業）

図面 番号	場 所	目 的	概 要
③	東台後地内	県事業工事 負担金	古川端橋工事 長さ＝31メートル 幅＝7.0メートル (古川河川改修事業) 継続
④	上保原字田向地内	道路改良舗装	測量設計 長さ＝50メートル 幅＝4.0メートル (田向1号線) 相馬福島道路関連

さわやか現道整備事業

図面 番号	場 所	目 的	概 要
⑤	黄金町地内	道路改良舗装	工事 長さ＝150メートル 幅＝6.0メートル (保原箱崎線) 継続
⑥	富沢字長谷地内	現道舗装	工事 長さ＝100メートル 幅＝2.5～3.0メートル (大南四城線)
⑦	大泉字道城場地内	現道舗装	工事 長さ＝90メートル 幅＝3.0～3.5メートル (道城場4号線)
⑧	金原田字北原地内	水路整備	工事 長さ＝50メートル(改修) (前原内荒神前線)
⑨	大泉字大塚地内	現道舗装	測量設計・工事 長さ＝370メートル 幅＝2.0～2.5メートル (大塚7号線)
⑩	柱田字武士沢地内	水路整備	工事 長さ＝90メートル(改修) (武士沢1号線)



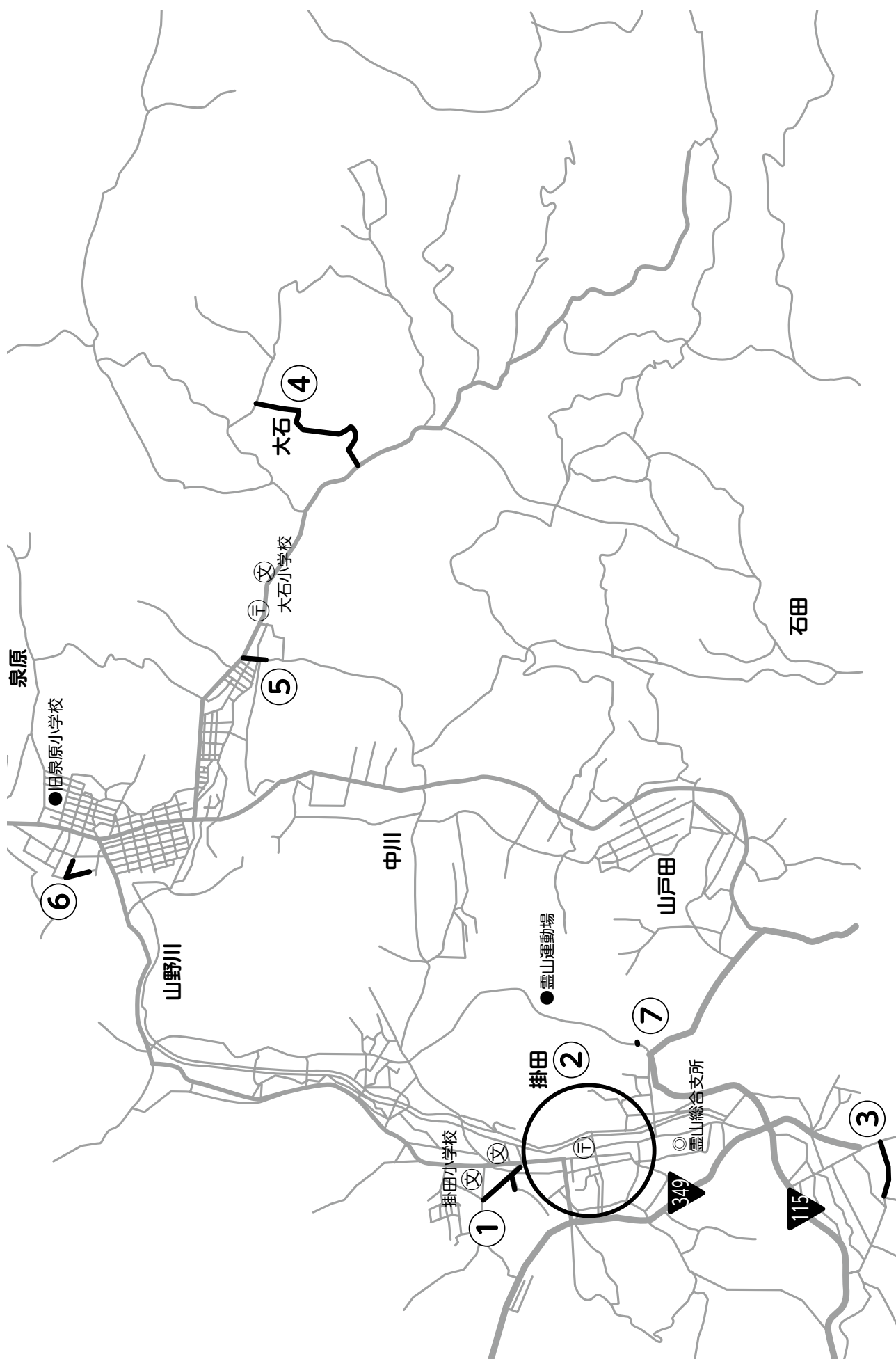
【靈山地域】

道路新設改良事業（合併特例債事業）

図面 番号	場 所	目 的	概 要
①	掛田字下屋敷地内	道路改良舗装	用地補償・工事 長さ＝230メートル 幅＝4.0メートル (下屋敷高ノ上線) 継続
②	掛田地内	道路改良	健幸都市(SWC)整備事業 コミュニティ道路整備 長さ＝480メートル 継続 市道整備 長さ140メートル 継続
③	小国字繕木地内	工事負担金 道路改良舗装	相馬・福島道路のI.C整備に伴う繕木杉ノ内線負担金 用地補償・工事 長さ＝400メートル 幅＝9.25メートル(2車線・片側歩道) (繕木杉ノ内線) 継続
④	大石字前地地内	道路改良舗装 (新設)	用地補償 長さ＝1100メートル 幅＝6.0メートル (前地田代線) 継続

さわやか現道整備事業

図面 番号	場 所	目 的	概 要
⑤	大石字馬越地内	現道舗装	測量設計 外側線工事 長さ＝300メートル (越田中川線)
⑥	泉原字川面地内	現道舗装	測量設計・工事 長さ＝150メートル 幅＝3.5～4.0メートル (川面線)
⑦	掛田字館地内	水路整備	測量設計・工事 横断側溝工 長さ＝7メートル (館田沢線)



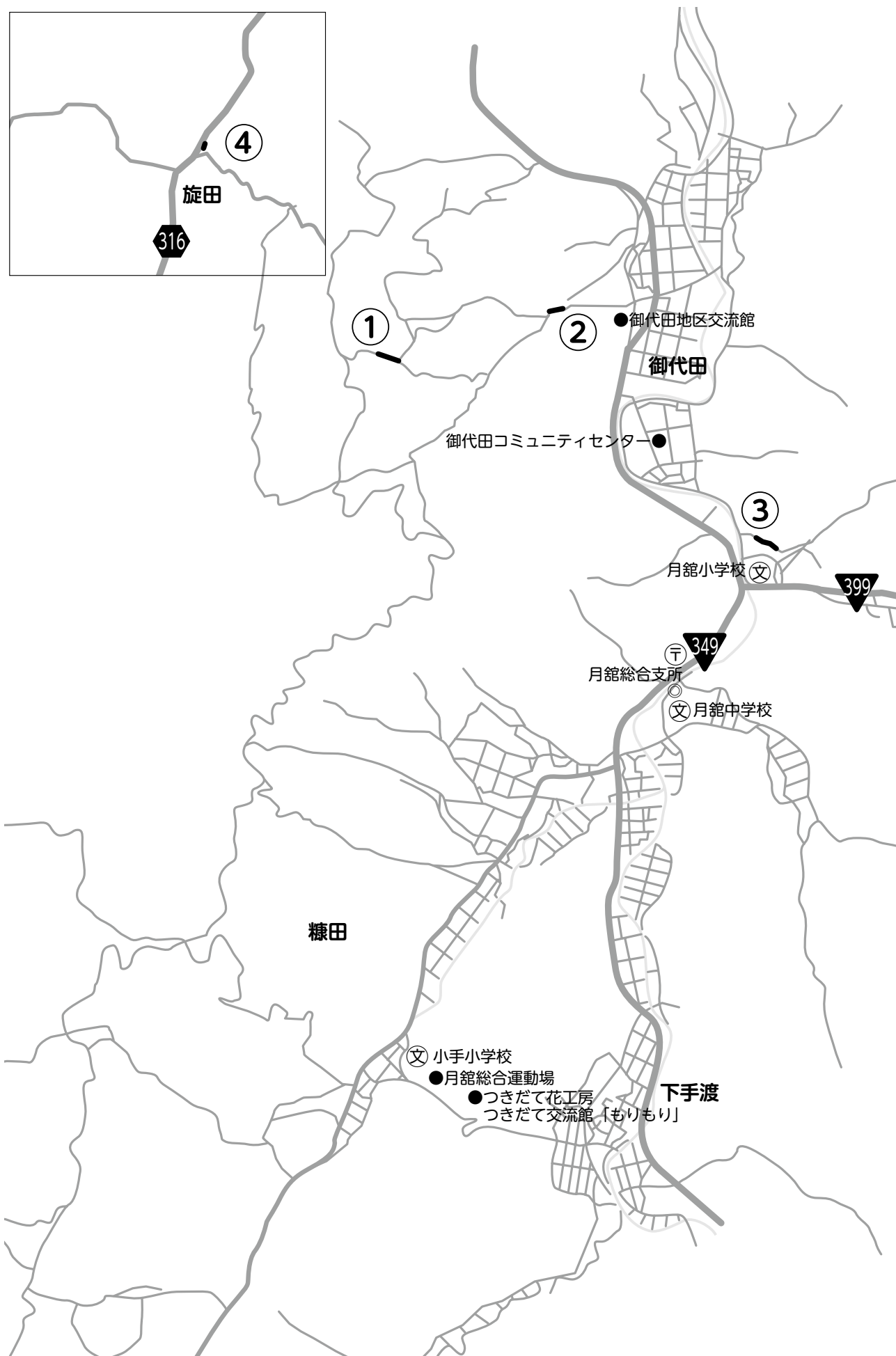
【月舘地域】

道路新設改良事業（合併特例債事業）

図面 番号	場 所	目 的	概 要
①	御代田字旭作地内	道路改良舗装	工事 長さ＝180メートル 幅＝4.0～5.0メートル (寺村社旭作線) 継続
②	御代田字平内地内	水路整備	工事 長さ＝70メートル 幅＝2メートル 高さ＝1.8メートル (沢川) 継続

さわやか現道整備事業

図面 番号	場 所	目 的	概 要
③	布川字西原地内	水路整備	工事 長さ＝130メートル 幅＝1.2メートル 高さ＝0.8メートル 継続
④	布川字旋田地内	水路整備	工事 長さ＝10メートル 幅＝1.7メートル 高さ＝1.5メートル 継続



道路施設等維持管理事業

担当課 土木課

1 億 5,060 万円

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担	その他
	7,682	6,360	1,018

【目 的】

市道通行の車両および歩行者等が安全・安心に通行出来るよう、適切な維持管理に努めます。

【実施内容】

- 定期的な道路パトロールの実施
- 損傷箇所を発見した場合、早急な修繕の実施
- 幹線道路における街路樹の剪定作業・害虫防除等の実施

【前年実績・効果】

- 直営による道路修繕
- 道路修繕依頼 98 件 2,230 万円
- 除草・支障木伐採・街路樹剪定・害虫防除等 335 万円



路面整正作業

除排雪対策事業

担当課 土木課

991 万円

財源 (万円)	市の負担
	991

【目 的】

市道等の除雪を行うことにより、通行の障害を解消し円滑な交通を確保します。

また、坂道が凍結した場合に備え、凍結防止剤を現地に配置します。

【実施内容】

- 積雪 15 センチメートル以上となった場合、除雪を行います。
- ※除雪を行う場合、すぐに出動できるよう建設業者にあらかじめ作業を委託しています。(12～3月)



除雪実施状況

街路灯管理事業

担当課 土木課

5,087 万円

財源 (万円)	市の負担
	5,087

【目 的】

街路灯の新設・修繕を行い市道通行の車両および歩行者等の夜間の外出時に配慮し、安全・安心な地域社会を形成します。

【実施内容】

- 街路灯の新設
- 街路灯の修繕

【実施状況・効果】

- 街路灯新設 18 基
- 街路灯修繕 1,156 件



街路灯新設作業

拡充

橋梁維持管理事業

担当課 土木課

4,457 万円

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担
	1,817	2,640

【目 的】

橋梁の定期的な点検・修繕を行うことで未然に事故の防止や架替え等に係る費用の削減を図り損傷による不要な通行止めを回避し円滑な交通を確保します。

また、現在の橋をより長く使えるよう維持管理に努めます。

【実施内容】

- 橋梁長寿命化事業
全 534 橋を 5 年に 1 度、点検を実施します。
- 橋梁維持管理事業
定期的なパトロールを実施し、適正な維持管理を行います。

【前年実績・効果】

霊山地域「大手橋」修繕工事 実施



橋梁修繕工事

道路橋梁災害復旧事業

担当課 土木課

4億2,198万円

財源（万円）	市の負担	国・県の負担	市 債
	11,938	18,380	11,880

【目 的】

平成 27 年 9 月に発生した豪雨により被害を受けた道路や河川の復旧を平成 27 年度に引き続き行います。

～繰越事業～

【実施内容】

道路災害復旧：14 箇所（国庫補助対象事業）

河川災害復旧：20 箇所（国庫補助対象事業）

その他災害復旧



被害状況

5－3 快適で便利な居住空間の創出

高子駅北地区土地区画整理事業

担当課 都市整備課

0万円

【目 的】

伊達市都市計画マスタープランにおいて、定住促進の観点から計画的な住宅地整備を推進する地域に位置付けし、「健幸都市基本計画」に掲げる「自然と歩きたくなるまち」の実現を目指し、土地区画整理事業を支援します。

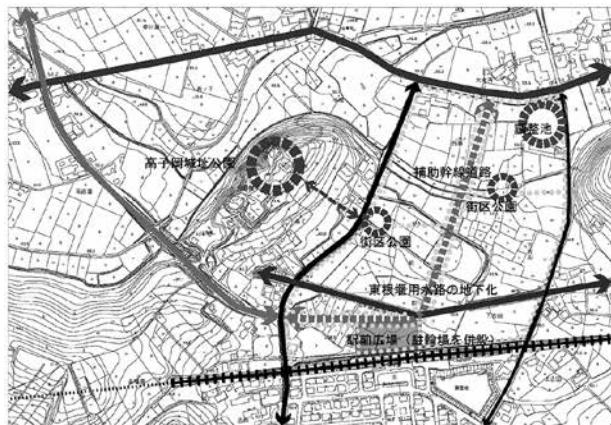
【実施内容】

本事業は、施行区域内の土地所有権等を有する者によって組織する土地区画整理組合が施行するものですが、本市の重要な住宅施策であること、また健幸都市推進のため、指導、助言および支援を行うものです。

- 整備計画地 伊達市保原町上保原地内（阿武隈急行線高子駅北地区）
- 整備計画面積 約 14ha
- 整備手法 土地区画整理事業（業務代行方式による組合施行）

【前年実績・効果】

土地区画整理組合設立に向け、土地所有者に本事業の概要等について説明し、土地区画整理組合設立準備会発足のため支援を行いました。



イメージ図

安全安心耐震促進事業 (木造住宅耐震診断者派遣事業)

担当課 管理課

179万円

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担	その他
	57	115	7

【目 的】

昭和 56 年 5 月 31 日以前建築または着手となった民間戸建て木造住宅の耐震診断を希望する方に、市が耐震診断者を派遣し耐震診断をすることにより、自宅の耐震性能を認識し、耐震改修への実施を促進します。

【実施内容】

昭和 56 年 5 月 31 日以前建築された木造住宅（在来軸組工法等による 3 階建て以下の木造住宅）の所有者に対し、耐震診断者を派遣します。

【前年実績・効果】

平成 17 年度から平成 26 年度までの間で 101 件、平成 27 年度については 9 件に耐震診断者を派遣しました。

安心耐震サポート事業（耐震改修事業）

担当課 管理課

540万円

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担
	135	405

【目 的】

伊達市で実施している木造住宅耐震診断者派遣業務により耐震診断を行った結果、住宅の耐震性が不足している住宅に対して木造住宅の耐震改修（耐震補強）を促進し、震災に強いまちづくりを推進します。

【実施内容】

耐震性が不足している木造住宅の耐震改修（耐震補強）工事を実施した者に対し、工事費の一部を補助します。

①一般改修

工事費の 1/2 で最大 100 万円までを補助。

②段階・部分改修

工事費の 1/2 で最大 60 万円までを補助。

【前年実績・効果】

平成 25 年度 1 件、平成 26 年度 2 件、平成 27 年度では、一般改修 1 件、段階・部分改修 3 件が耐震改修工事をを行い補助を受けています。

5－4 安心・安全な水環境の形成

未普及地区飲料水確保支援事業

担当課 水道総務課

1,164万円

財源 (万円)	市の負担
	1,164

【目 的】

飲料水の確保が困難となる状況に対処し、市民の生活の維持向上を図るため、水道未普及地域における井戸掘削等工事に要する経費について補助金を交付します。

【実施内容】

補助対象事業

水道未普及地域における一般住宅の新たな飲料水確保のための井戸掘削等工事および水源の改築工事

○補助率 2/3 ○補助限度額 60 万円

【前年実績・効果】

○補助決定件数 13 件 ○補助金交付額 704 万円

※ 3 月 1 日現在予定額



生活用水供給（宅配）事業

担当課 水道総務課

249万円

財源 (万円)	市の負担	その他
	230	19

【目 的】

中山間地域等の水道未普及地域において、市民の生活用水を確保するため、水道水の宅配事業を実施します。

【実施内容】

申し込みがあった世帯に対して、用意されたタンクまで、給水車で水道水をお届けします。

【前年実績】

宅配件数 延べ 303 件（2 月末現在）

【利用料金】

1 m³あたり 500 円



山舟生日面地区水道施設整備事業

担当課 施設工事課

1 億 2,135 万円

【目 的】

山舟生日面地区は水道未普及地区で、水道施設の整備要望が高い地区であり、早期に整備を促進するものです。

【実施内容】

○梁川町山舟生字日面地内

配水管布設工事

HPPE・PP 管φ 100～50 L=1,500 m

減圧井築造工事および加圧ポンプ設置 N=1.0 式

【前年実績・効果】

業務委託

○測量設計業務委託 実施設計委託 L=2,250 m

送水管布設工事

○梁川町山舟生字和田地内

ダクタイル鑄鉄管φ 100 L=680 m



財源 (万円)	市の負担
	12,135

月舘地域石綿セメント管更新事業

担当課 施設工事課

1 億 2,584 万円

【目 的】

老朽化による漏水の危険性が高い石綿セメント管を、耐久性および耐震性に優れ、災害に強い水道管に布設替する事業です。

【実施内容】

配水管布設替工事

○月舘町御代田、月舘地区

HPPE φ 150mm L=1,300 m

【前年実績・効果】

配水管布設替工事

○月舘町御代田地区

HPPE φ 150mm L=701 m

○月舘町糠田地区

HPPE φ 75～150mm L=1,490 m

石綿管更新事業業務委託

○実施設計業務委託

測量設計 L=3,495 m

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担	市 債
	2,342	2,562	7,680



公共下水道整備事業

担当課 下水道課

2億4,654万円

【目的】

- 河川や水路などの水質保全や快適な生活を営むため、下水道を整備しています。
- 家庭などから排出される汚水は国見町にある県北浄化センターできれいな水にして阿武隈川に放流しています。

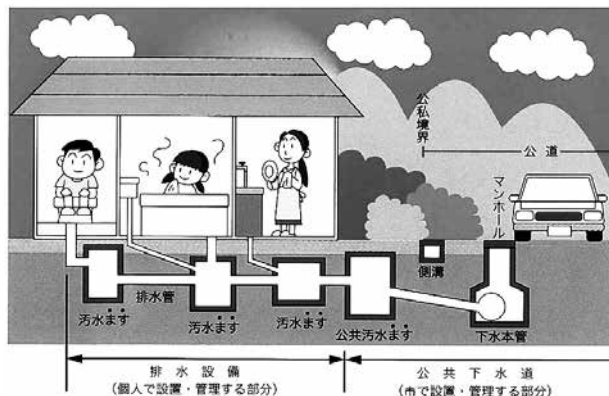
【実施内容】

- 下水道本管を埋設し各家庭からの汚水を接続するために、工事区間内の宅地内に公共樹を設置しています。
- 今年度は約1.2Km（伊達地域根田および沢田地内・梁川地域清水町地内）を整備します。
- 下水道使用が可能になった市民の皆さんには、速やかに下水道に接続をお願いします。

【前年実績・効果】

平成27年度末で約126Kmの下水道管が整備され、約21,800人の市民が利用できるようになりました。

財源(万円)	市の負担	国・県の負担	市債	その他
	7,385	7,140	9,100	1,029



公共下水道で快適な生活

浄化槽設置支援事業

担当課 下水道課

3,985万円

【目的】

家庭から排水される生活雑排水をきれいにし、河川や水路などの水質保全や快適な生活が営めるようになるため、下水道や農業集落排水施設を利用できない区域で、合併浄化槽を設置する人に対して補助金を交付します。

【実施内容】

16万6,000円～54万8,000円

浄化槽の大きさや建物の用途によって異なります。

改造等で単独浄化槽や汲取り便所をすべて撤去する場合は、6万円から9万円の範囲で撤去費用として加算します。

市街化区域の中で当面下水道整備ができない区域^(※)については、8万4,000円から27万8,000円の範囲で通常の補助金に加算します。

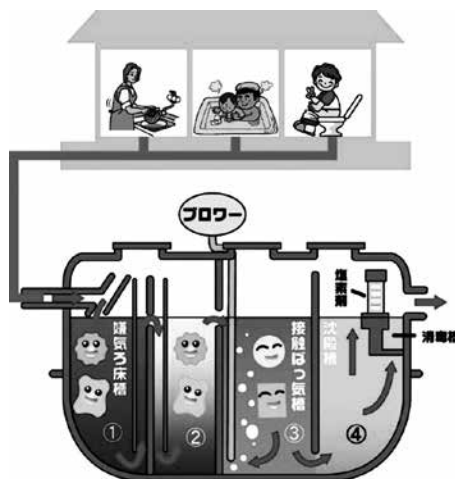
※伊達地区：国道4号線より東側

保原地区：古川より西側

【前年実績・効果】

設置基数 106基

財源(万円)	市の負担	国・県の負担
	2,415	1,570



浄化槽設置で快適な生活